

防水工事の標準見積書について

(一社)全国防水工事業協会

(目的)

建設産業の持続的な発展に必要な人材の確保と企業間の健全な競争環境の構築には、行政と建設業者が一体となって社会保険の加入を促進する必要がある。

このため、全防協は、防水工事費の見積書に事業者として負担する法定福利費の額を明示するための標準見積書を作成することにより請負契約の見積もり時から、各社の実情に応じた法定福利費の額を簡便に算定できるよう作成手順書を策定し、適正な法定福利費の確保に努めるものとする。

(見積りの方法)

防水工事費に含まれる法定福利費は、3工法に分類した工法毎に「法定福利費率」を積算し、これを見積書に明記することにより、請負契約の見積もり時から適正な法定福利費の確保に努めるものとする。

これを会員自ら徹底するとともに、下請企業に対しても周知・徹底等の要請を行うものである。

(防水工事標準見積書作成の考え方)

防水工事には、大別してアスファルト防水、シート防水、塗膜防水、セメント系防水、シーリング防水の工法があり、各工法において防水材料の種類により、さらに細分化されている。

国土交通省の官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書」(建築工事編)第9章防水工事の2節アスファルト防水には24種類の仕様が規定されているが、実際には多くの防水材料メーカーがそれぞれ仕様を定めているため、アスファルト防水だけで530もの仕様が存在している。

さらに現場における建物の大小・形状、立ち上がりの有無等により、その労務費は変動してしまう。

このような事情を勘案した結果、数多くの工法・仕様がある防水工事ではその仕様毎に法定福利費の内訳を明示した標準見積書を作成することには無理があるため、代表的なメンブレン防水(アスファルト・塗膜・シート防水の総称)とセメント系防水(ポリマーセメント系防水・ケイ酸質系防水)、シーリング防水の3工法に分類し、それぞれについて㎡当りの法定福利費の比率(%)を算出した。

なお、国土交通省より法定福利費の算出方法として、①当該工事に係る労務費の総額を算出し、それに法定福利費の保険料率を乗じる方法、②工事費の総額に平均的な法定福利費の割合を乗じて算出する方法、③工事数量に数量当たりの平均的な法定福利費を乗じて算出する方法、の3通りが示されているが、当協会は防水工事の標準見積書における法定福利費の算出方法として、②の総額方式を採用することとした。

2024年度の各保険の保険料率について

※. 協会けんぽ 東京支部 加入の場合

○事業主負担

①雇用保険	健康保険			③厚生年金保険	法定福利費 (①+②+③)
	健康保険料率	介護保険料率	②健康保険		
1.15%	4.990%	+ 0.448%	= 5.438%	9.510%	16.098%

[各保険料率の根拠]

①雇用保険 : 建設の事業に係る保険料率 1.15%

②健康保険 :

健康保険料率 : 9.98% (協会けんぽ東京支部) を事業主・被保険者で折半。

介護保険料率 : 1.60% (協会けんぽ東京支部で介護保険第2号被保険者) を事業主・被保険者で折半し、介護保険の対象である40歳以上64歳以下の割合56.0% (協会けんぽ 令和3年度事業年報) を乗じた比率。

※. 介護保険料率の算式 = $1.60\% \div 2 \times 56.0\% = 0.448\%$
(小数点第3位未満四捨五入)

③厚生年金保険 : 18.3% を事業主・被保険者で折半。子ども・子育て拠出金率の0.36% を全額事業主負担。

※1. 厚生年金保険料率の算式

$$18.3\% \div 2 + 0.36\% = 9.510\%$$

※2. 厚生年金保険の保険料率は、平成29年度まで毎年引き上げが行なわれてきましたが、今後法律改正が行われない限り、現行の率(18.3%)が維持されます。

※3. 2024年度の子ども・子育て拠出金率は、0.36%で前年度から据え置きを想定しています。

2024年度 都道府県別 社会保険料率一覧

都道府県名	雇用保険料率 事業主負担分	健康保険料率 事業主負担分	介護保険料率 事業主負担分	厚生年金保険料率 事業主負担分	保険料率合計 (全て加入の場合)
北海道	1.15%	5.105%	0.448%	9.510%	16.213%
青森県	1.15%	4.745%	0.448%	9.510%	15.853%
岩手県	1.15%	4.815%	0.448%	9.510%	15.923%
宮城県	1.15%	5.005%	0.448%	9.510%	16.113%
秋田県	1.15%	4.925%	0.448%	9.510%	16.033%
山形県	1.15%	4.920%	0.448%	9.510%	16.028%
福島県	1.15%	4.795%	0.448%	9.510%	15.903%
茨城県	1.15%	4.830%	0.448%	9.510%	15.938%
栃木県	1.15%	4.895%	0.448%	9.510%	16.003%
群馬県	1.15%	4.905%	0.448%	9.510%	16.013%
埼玉県	1.15%	4.890%	0.448%	9.510%	15.998%
千葉県	1.15%	4.885%	0.448%	9.510%	15.993%
東京都	1.15%	4.990%	0.448%	9.510%	16.098%
神奈川県	1.15%	5.010%	0.448%	9.510%	16.118%
新潟県	1.15%	4.675%	0.448%	9.510%	15.783%
富山県	1.15%	4.810%	0.448%	9.510%	15.918%
石川県	1.15%	4.970%	0.448%	9.510%	16.078%
福井県	1.15%	5.035%	0.448%	9.510%	16.143%
山梨県	1.15%	4.970%	0.448%	9.510%	16.078%
長野県	1.15%	4.775%	0.448%	9.510%	15.883%
岐阜県	1.15%	4.955%	0.448%	9.510%	16.063%
静岡県	1.15%	4.925%	0.448%	9.510%	16.033%
愛知県	1.15%	5.010%	0.448%	9.510%	16.118%
三重県	1.15%	4.970%	0.448%	9.510%	16.078%
滋賀県	1.15%	4.945%	0.448%	9.510%	16.053%
京都府	1.15%	5.065%	0.448%	9.510%	16.173%
大阪府	1.15%	5.170%	0.448%	9.510%	16.278%
兵庫県	1.15%	5.090%	0.448%	9.510%	16.198%
奈良県	1.15%	5.110%	0.448%	9.510%	16.218%
和歌山県	1.15%	5.000%	0.448%	9.510%	16.108%
鳥取県	1.15%	4.840%	0.448%	9.510%	15.948%
島根県	1.15%	4.960%	0.448%	9.510%	16.068%
岡山県	1.15%	5.010%	0.448%	9.510%	16.118%
広島県	1.15%	4.975%	0.448%	9.510%	16.083%
山口県	1.15%	5.100%	0.448%	9.510%	16.208%
徳島県	1.15%	5.095%	0.448%	9.510%	16.203%
香川県	1.15%	5.165%	0.448%	9.510%	16.273%
愛媛県	1.15%	5.015%	0.448%	9.510%	16.123%
高知県	1.15%	4.945%	0.448%	9.510%	16.053%
福岡県	1.15%	5.175%	0.448%	9.510%	16.283%
佐賀県	1.15%	5.210%	0.448%	9.510%	16.318%
長崎県	1.15%	5.085%	0.448%	9.510%	16.193%
熊本県	1.15%	5.150%	0.448%	9.510%	16.258%
大分県	1.15%	5.125%	0.448%	9.510%	16.233%
宮崎県	1.15%	4.925%	0.448%	9.510%	16.033%
鹿児島県	1.15%	5.065%	0.448%	9.510%	16.173%
沖縄県	1.15%	4.760%	0.448%	9.510%	15.868%

※1. 雇用保険料率 厚生労働省ホームページ(2024年度の雇用保険料率について)

※2. 健康保険料率 全国健康保険協会(協会けんぽ)ホームページ [2024年度保険料額表]
 厚生年金保険料率

※3. 介護保険料率 厚生労働省保険局「健康保険・船員保険被保険者実態調査」

○資料出典内容一覧

防水種別		設計価格	労務費	市場比率
メンブレン	アスファルト防水	日本防水材料協会(JWMA)の メーカー5社の平均	経済調査会 令和5年度版 工事歩掛要覧より	2011年版 矢野経済研究所 防水材市場白書
	合成高分子ルーフィング 防水	日本防水材料協会(JWMA)の メーカー9社の平均	JWMAのメーカー 9社の 設計価格構成の平均労務費	2011年版 矢野経済研究所 防水材市場白書
	塗膜防水	日本防水材料協会(JWMA)の メーカー10社の平均	JWMAのメーカー10社の 設計価格構成の平均労務費	2011年版 矢野経済研究所 防水材市場白書
シーリング防水		公表材料価格より設計労務単価を 考慮し設定	経済調査会 令和5年度版 工事歩掛要覧より	2011年 日本シーリング材 工業会 生産数量から算出
セメント系防水 (ポリマーセメント系・ケイ酸質系)		セメント系防水材料メーカー8社の 公表設計価格の平均	セメント系防水材料メーカー8社の公表 設計価格構成の労務費の平均	メーカー団体(※)から日本建築 学会に提出した施工面積統計

※. ポリマーセメント系塗膜防水協議会、ケイ酸質系塗布防水材料協議会の2団体

○メーカー設計価格及び労務費の平均値

防水種別		部位など	設計価格	設計価格構成の平均労務費
メンブレン	アスファルト防水	平面部	13,905 円/㎡	—
		立上り	16,172 円/㎡	—
	合成高分子ルーフィング 防水	平面部	12,291 円/㎡	3,064 円/㎡
		立上り	9,112 円/㎡	3,124 円/㎡
	塗膜防水	平面部	10,753 円/㎡	2,445 円/㎡
		立上り	10,493円/㎡	3,123 円/㎡
シーリング防水		1成分形	6,690.3円/ℓ	—
		2成分形	3,402.2円/ℓ	—
セメント系	ポリマーセメント系防水	平面部	7,182 円/㎡	2,122 円/㎡
		立上り	7,182 円/㎡	2,142 円/㎡
	ケイ酸質系塗布防水	平面部・立上りの区別なし	3,550 円/㎡	1,204.7 円/㎡

○防水工事現場における平面部と立上り部の施工面積比率について

会員企業に対してアンケート調査を実施して集計(平成25年5月)

[メンブレン防水]	111件
平面部 …	84.1%
立上り部 …	15.9%
計	100.0%

[セメント系防水]	28件
平面部 …	34.7%
立上り部 …	65.3%
計	100.0%

○設計価格構成の平均労務費を使用するときは、東京の地域調整率を1として地域調整を行う。

その地区の設計価格構成の労務費 ÷ 東京都の平均労務費 = 地域調整率

2024年度都道府県別公共工事設計労務単価(防水工・普通作業員)

所定労働時間8時間当たりの金額(単位:円)

都道府県名	防水工	普通作業員	都道府県名	防水工	普通作業員
北海道	30,200	20,000	大阪府	26,900	21,800
秋田県	27,800	21,200	京都府	26,800	22,300
青森県	26,800	20,700	滋賀県	26,800	21,300
岩手県	27,000	22,100	奈良県	26,800	21,900
宮城県	29,600	22,100	和歌山県	26,600	22,200
山形県	30,900	21,000	兵庫県	26,000	22,000
福島県	30,500	22,000	近畿平均	26,650	21,917
東北平均	28,767	21,517	岡山県	26,300	19,700
茨城県	30,700	24,000	広島県	25,300	20,500
群馬県	29,200	23,700	山口県	25,000	18,800
栃木県	31,700	22,400	鳥取県	25,900	16,800
埼玉県	32,900	24,300	島根県	24,600	18,100
千葉県	33,000	23,900	中国平均	25,420	18,780
東京都	34,200	25,400	徳島県	25,000	21,900
神奈川県	31,300	25,300	香川県	25,100	22,600
山梨県	30,900	25,200	愛媛県	24,800	19,700
長野県	28,800	23,200	高知県	24,800	20,100
関東・甲信平均	31,411	24,156	四国平均	24,925	21,075
静岡県	29,800	24,700	福岡県	26,500	21,900
愛知県	29,300	23,500	大分県	26,600	19,000
三重県	29,200	22,700	佐賀県	26,800	18,900
岐阜県	27,100	23,500	長崎県	26,400	19,800
中部平均	28,850	23,600	熊本県	26,600	20,300
新潟県	27,100	21,900	宮崎県	26,300	18,500
富山県	27,100	23,200	鹿児島県	26,400	19,900
石川県	28,300	24,000	沖縄県	35,000	21,400
福井県	26,100	20,000	九州・沖縄平均	27,575	19,963
北陸平均	27,150	22,275	全国平均	28,017	21,689

1. アスファルト防水工事における法定福利費率の計算式

[平面部]	※1	※2	※3		※4	
設計労務単価(a)		法定福利費率(b)	歩掛	m ² 当りの法定福利費	平均設計単価	法定福利費率(i)
防水工	×	0.16098	×	(c)	=	(d)
普通作業員	×	0.16098	×	(c)	=	(f)
				(d) + (f)	(h)	(g) ÷ (h) × 100
				= (g)		

[立上り部]	※1	※2	※3		※4	
設計労務単価(a')		法定福利費率(b')	歩掛	m ² 当りの法定福利費	平均設計単価	法定福利費率(i')
防水工	×	0.16098	×	(c')	=	(d')
普通作業員	×	0.16098	×	(c')	=	(f')
				(d') + (f')	(h')	(g') ÷ (h') × 100
				= (g')		

[アスファルト防水工事における平面部と立上り部の施工面積比率]	※5				
平面部	84.1%	×	(i)	=	(j)
立上り部	15.9%	×	(i')	=	(j')

[アスファルト防水工事における法定福利費比率]

$$(j) + (j') = X$$

- ※1. 2024年度公共工事設計労務単価を記載例として掲載(5頁)
 ※2. 2024年度の各保険の保険料率について(2頁) [東京都の場合]
 ※3. 「工事歩掛要覧」(令和5年度版) [経済調査会刊] を記載例として掲載
 ※4. 日本防水材料協会(JWMA)のメーカー5社平均値を記載例として掲載(4頁)
 ※5. 防水工事現場における平面部と立上り部の施工面積比率について(4頁)

2. 合成高分子ルーフィングシート防水の法定福利費率の計算式

[平面部]

※1	※2	※3
平均労務費	× 地域調整率	× 法定福利費率(b)
(a)		0.16098
		= m ² 当りの法定福利費
		(c)
		m ² 当りの法定福利費
		(c) ÷
		平均設計単価
		(d) ×
		100
		法定福利費率
		= (e)

[立上り部]

※1	※2	※3
平均労務費	× 地域調整率	× 法定福利費率(b')
(a')		0.16098
		= m ² 当りの法定福利費
		(c')
		m ² 当りの法定福利費
		(c') ÷
		平均設計単価
		(d') ×
		100
		法定福利費率
		= (e')

[合成高分子ルーフィングシート防水工事における平面部と立上り部の施工面積比率] ※4

平面部	84.1%	×	(e)	=	(f)
立上り部	15.9%	×	(e')	=	(f')

[合成高分子ルーフィングシート防水工事における法定福利費比率]

$$(f) + (f') = Y$$

- ※1. メーカー各社の設計労務費の平均値を記載例として掲載(4頁)
 ※2. 2024年度の各保険の保険料率について(2頁) [東京都の場合]
 ※3. メーカー各社の設計価格の平均値を記載例として掲載(4頁)
 ※4. 防水工事現場における平面部と立上り部の施工面積比率について(4頁)

3. 塗膜防水の法定福利費率の計算式

[平面部]

$$\begin{array}{ccccccc} & \text{※1} & & & \text{※2} & & \\ \text{平均労務費} & \times & \text{地域調整率} & \times & \text{法定福利費率(b)} & = & \text{㎡当りの法定福利費} \\ \text{(a)} & & & & 0.16098 & & \text{(c)} \end{array}$$

※3 ㎡当りの法定福利費 (c)	÷	平均設計単価 (d) × 100
法定福利費率		
= (e)		

[立上り部]

$$\begin{array}{ccccccc} & \text{※1} & & & \text{※2} & & \\ \text{平均労務費} & \times & \text{地域調整率} & \times & \text{法定福利費率(b')} & = & \text{㎡当りの法定福利費} \\ \text{(a')} & & & & 0.16098 & & \text{(c')} \end{array}$$

※3 ㎡当りの法定福利費 (c')	÷	平均設計単価 (d') × 100
法定福利費率		
= (e')		

[塗膜防水工事における平面部と立上り部の施工面積比率]※4

平面部	84.1%	× (e)	=	(f)
立上り部	15.9%	× (e')	=	(f')

[塗膜防水工事における法定福利費比率]

$$(f) + (f') = Z$$

- ※1. メーカー各社の設計労務費の平均値を記載例として掲載 (4頁)
- ※2. 2024年度の各保険の保険料率について (2頁) [東京都の場合]
- ※3. メーカー各社の設計価格の平均値を記載例として掲載 (4頁)
- ※4. 防水工事現場における平面部と立上り部の施工面積比率について (4頁)

4. メンブレン防水の法定福利費率(矢野経済研究所 2011年版「防水材市場白書」より)

	市場占有率	×	計算値	=	調整値
アスファルト防水	0.310	×	X	=	(X1)
合成高分子系ルーフィングシート防水	0.354	×	Y	=	(Y1)
塗膜防水	0.336	×	Z	=	(Z1)
合計					(X1) + (Y1) + (Z1)

1. ポリマーセメント系防水の法定福利費率の計算式

〔平面部〕

$$\begin{array}{ccccccc} & \text{※1} & & & \text{※2} & & \\ \text{平均労務費} & \times & \text{地域調整率} & \times & \text{法定福利費率(b)} & = & \text{㎡当りの法定福利費} \\ \text{(a)} & & & & 0.16098 & & \text{(c)} \end{array}$$

$$\begin{array}{ccc} & \text{※3} & \\ \text{㎡当りの法定福利費} & & \text{平均設計単価} \\ \text{(c)} & \div & \text{(d)} \times 100 \\ \text{法定福利費率} & & \\ = & \text{(e)} & \end{array}$$

〔立上り部〕 ※1

$$\begin{array}{ccccccc} & \text{※1} & & & \text{※2} & & \\ \text{平均労務費} & \times & \text{地域調整率} & \times & \text{法定福利費率(b')} & = & \text{㎡当りの法定福利費} \\ \text{(a')} & & & & 0.16098 & & \text{(c')} \end{array}$$

$$\begin{array}{ccc} & \text{※3} & \\ \text{㎡当りの法定福利費} & & \text{平均設計単価} \\ \text{(c')} & \div & \text{(d')} \times 100 \\ \text{法定福利費率} & & \\ = & \text{(e')} & \end{array}$$

〔ポリマーセメント系防水工事における平面部と立上り部の施工面積比率〕※4

$$\begin{array}{lcl} \text{平面部} & 34.7\% & \times \text{(e)} = \text{(f)} \\ \text{立上り部} & 65.3\% & \times \text{(e')} = \text{(f')} \end{array}$$

〔ポリマーセメント系防水工事における法定福利費比率〕

$$\text{(f)} + \text{(f')} = \text{F}$$

※1. メーカー各社の設計労務費の平均値を記載例として掲載（4頁）

※2. 2024年度の各保険の保険料率について（2頁）〔東京都の場合〕

※3. メーカー各社の設計価格の平均値を記載例として掲載（4頁）

※4. 防水工事現場における平面部と立上り部の施工面積比率について（4頁）

2. ケイ酸質系防水の法定福利費率の計算式

〔平面部・立上り部の区別なし〕

$$\begin{array}{ccccccc} & \text{※1} & & & \text{※2} & & \\ \text{平均労務費} & \times & \text{地域調整率} & \times & \text{法定福利費率(b)} & = & \text{㎡当りの法定福利費} \\ \text{(a)} & & & & 0.16098 & & \text{(c)} \end{array}$$

$$\begin{array}{ccc} & \text{※3} & \\ \text{㎡当りの法定福利費} & & \text{平均設計単価} \\ \text{(c)} & \div & \text{(d)} \times 100 \\ \text{法定福利費率} & & \\ = & \text{(e)} & \end{array}$$

〔ケイ酸質系防水工事における法定福利費比率〕

$$\text{(e)}$$

※1. メーカー各社の設計労務費の平均値を記載例として掲載（4頁）

※2. 2024年度の各保険の保険料率について（2頁）〔東京都の場合〕

※3. メーカー各社の設計価格の平均値を記載例として掲載（4頁）

3. セメント系防水の法定福利費率(矢野経済研究所 2011年版「防水材料市場白書」より)

	市場占有率		計算値		調整値
ポリマーセメント系防水	0.7551	×	F	=	(F1)
ケイ酸質系防水	0.2449	×	(e)	=	(e1)
合計					(F1)+(e1)

[1成分形シーリング材]	※1		※2		
材料種別	平均価格		市場比率	=	修正価格
シリコーン	(a1)	×	0.4381	=	(b1)
変成シリコーン	(a2)	×	0.3614	=	(b2)
ポリウレタン系	(a3)	×	0.2005	=	(b3)
合計					(c)

$$10\text{当りの材料費 (c)} \times \text{使用量 } 0.055 = \text{m当りの材料費 (d)}$$

設計価格(一般業価格内訳より)

シーリング材					(d)
補足材	(d) × 10%				(e)
	※3		※4		
防水工	0.027 × 設計労務単価(f)	=			(g)
その他	上記の13%				(h)
合計	[(d)+(e)+(g)]	×	0.13		(i)

$$m\text{当りの法定福利費 (j)} = (g) \times 0.16098 \quad ※5$$

$$\text{法定福利費率 (k)} = (j) \div (i) \times 100$$

※1. 日本シーリング材工業会メーカー4社の平均値を記載例として掲載

※2. 日本シーリング材工業会の生産量より

※3. 「工事歩掛要覧」(令和5年度版)【経済調査会刊】を記載例として掲載

※4. 2024年度公共工事設計労務単価を記載例として掲載(5頁)

※5. 2024年度の各保険の保険料率について(2頁)【東京都の場合】

[2成分形シーリング材]	※1		※2		
材料種別	平均価格		市場比率	=	修正価格
シリコーン	(a1')	×	0.0465	=	(b1')
変成シリコーン	(a2')	×	0.4454	=	(b2')
ポリサルファイド	(a3')	×	0.0912	=	(b3')
ポリウレタン系	(a4')	×	0.4169	=	(b4')
合計					(c')

$$10\text{当りの材料費 (c')} \times \text{使用量 } 0.25 = \text{m当りの材料費 (d')}$$

設計価格(一般業価格内訳より)

シーリング材					(d')
補足材	(d') × 10%				(e')
	※3		※4		
防水工	0.039 × 設計労務単価(f')	=			(g')
その他	上記の13%				(h')
合計	[(d')+(e')+(g')]	×	0.13		(i')

$$m\text{当りの法定福利費 (j')} = (g') \times 0.16098 \quad ※5$$

$$\text{法定福利費率 (k')} = (j') \div (i') \times 100$$

※1. 日本シーリング材工業会メーカー4社の平均値を記載例として掲載

※2. 日本シーリング材工業会の生産量より

※3. 「工事歩掛要覧」(令和5年度版)【経済調査会刊】を記載例として掲載

※4. 2024年度公共工事設計労務単価を記載例として掲載(5頁)

※5. 2024年度の各保険の保険料率について(2頁)【東京都の場合】

○シーリング防水の法定福利費率(日本シーリング材工業会の生産数量の統計より)

	市場占有率		計算値	=	合計値
1成分形シーリング材	0.552	×	(k)	=	(k1)
2成分形シーリング材	0.448	×	(k')	=	(k'1)
合計					(k1)+(k'1)

愛知県の計算例 (メンブレン防水)

1. アスファルト防水工事における法定福利費率の計算式(A-1仕様)

[平面部]	※1	※2	※3		※4	
設計労務単価(a)	法定福利費率(b)		歩掛	m ² 当りの法定福利費	平均設計単価	法定福利費率(i)
29,300 ×	0.16118 ×		0.081	382.53	13,660円/m ²	481.01 ÷ 13,660 × 100
23,500 ×	0.16118 ×		0.026	98.48	(A-1仕様)	3.521
				382.53 + 98.48		
				= 481.01		

[立上り部]	※1	※2	※3		※4	
設計労務単価(a')	法定福利費率(b')		歩掛	m ² 当りの法定福利費	平均設計単価	法定福利費率(i')
29,300 ×	0.16118 ×		0.130	613.93	18,100円/m ²	769.23 ÷ 18,100 × 100
23,500 ×	0.16118 ×		0.041	155.30	(A-1仕様)	4.250
				613.93 + 155.30		
				= 769.23		

[アスファルト防水工事における平面部と立上り部の施工面積比率]	※5
平面部	84.1% × 3.521 = 0.02961
立上り部	15.9% × 4.250 = 0.00676

[アスファルト防水工事(A-1仕様)における法定福利費比率]

0.02961 + 0.00676 = 0.03637 ⇒ アスファルト防水の全仕様の法定福利費率の平均値は 0.03628

- ※1. 2024年度公共工事設計労務単価を記載例として掲載(5頁)
- ※2. 2024年度の各保険の保険料率について(2頁)
- ※3. 「工事歩掛要覧」(令和5年度版)〔経済調査会刊〕を記載例として掲載
- ※4. 日本防水材料協会(JWMA)のメーカー5社平均値を記載例として掲載(A-1仕様)
- ※5. 防水工事現場における平面部と立上り部の施工面積比率について(4頁)

2. 合成高分子ルーフィングシート防水の法定福利費率の計算式

[平面部]	※1	※2	※3
平均労務費 × 地域調整率 × 法定福利費率(b)	=	m ² 当りの法定福利費	m ² 当りの法定福利費 ÷ 平均設計単価
3,064 × 0.8567 × 0.16118	=	423.10	423.10 ÷ 12,291 × 100
			法定福利費率
			= 3.442

[立上り部]	※1	※2	※3
平均労務費 × 地域調整率 × 法定福利費率(b')	=	m ² 当りの法定福利費	m ² 当りの法定福利費 ÷ 平均設計単価
3,124 × 0.8567 × 0.16118	=	431.38	431.38 ÷ 9,112 × 100
			法定福利費率
			= 4.734

[合成高分子ルーフィングシート防水工事における平面部と立上り部の施工面積比率]※4

平面部	84.1% × 3.442 = 0.02895
立上り部	15.9% × 4.734 = 0.007527

[合成高分子ルーフィングシート防水工事における法定福利費比率]

0.02895 + 0.007527 = 0.03648

- ※1. メーカー各社の設計労務費の平均値を記載例として掲載(4頁)
- ※2. 2024年度の各保険の保険料率について(2頁)
- ※3. メーカー各社の設計価格の平均値を記載例として掲載(4頁)
- ※4. 防水工事現場における平面部と立上り部の施工面積比率について(4頁)

3. 塗膜防水の法定福利費率の計算式

[平面部]

$$\begin{array}{ccccccc} & \text{※1} & & & \text{※2} & & \\ \text{平均労務費} & \times & \text{地域調整率} & \times & \text{法定福利費率(b)} & = & \text{m}^2\text{当りの法定福利費} \\ 2,445 & & 0.8567 & & 0.16118 & & 337.62 \end{array}$$

※3	
m ² 当りの法定福利費	平均設計単価
337.62	10,753
÷	×
100	
法定福利費率	
= 3.1398	

[立上り部]

$$\begin{array}{ccccccc} & \text{※1} & & & \text{※2} & & \\ \text{平均労務費} & \times & \text{地域調整率} & \times & \text{法定福利費率(b')} & = & \text{m}^2\text{当りの法定福利費} \\ 3,123 & & 0.8567 & & 0.16118 & & 431.25 \end{array}$$

※3	
m ² 当りの法定福利費	平均設計単価
431.25	10,493
÷	×
100	
法定福利費率	
= 4.10986	

[塗膜防水工事における平面部と立上り部の施工面積比率]※4

平面部	84.1%	×	3.1398	=	0.02641
立上り部	15.9%	×	4.10986	=	0.006535

[塗膜防水工事における法定福利費比率]

$$0.02641 + 0.006535 = 0.03294$$

- ※1. メーカー各社の設計労務費の平均値を記載例として掲載（4頁）
- ※2. 2024年度の各保険の保険料率について（2頁）
- ※3. メーカー各社の設計価格の平均値を記載例として掲載（4頁）
- ※4. 防水工事現場における平面部と立上り部の施工面積比率について（4頁）

4. メンブレン防水の法定福利費率(矢野経済研究所 2011年版「防水材市場白書」より)

	市場占有率	×	計算値	=	調整値	
アスファルト防水	0.310	×	0.03628(※)	=	0.01125	※. アスファルト防水全仕様の計算値
合成高分子系ルーフィングシート防水	0.354	×	0.03648	=	0.01291	
塗膜防水	0.336	×	0.03294	=	0.01107	
					0.03523	

1. ポリマーセメント系防水の法定福利費率の計算式

〔平面部〕

$$\begin{array}{ccccccc} & \text{※1} & & & \text{※2} & & \\ \text{平均労務費} & \times & \text{地域調整率} & \times & \text{法定福利費率(b)} & = & \text{㎡当りの法定福利費} \\ 2,122 & & 0.8567 & & 0.16118 & & 293.02 \end{array}$$

$$\begin{array}{ccc} & \text{※3} & \\ \text{㎡当りの法定福利費} & & \text{平均設計単価} \\ 293.02 & \div & 7,182 \times 100 \\ \text{法定福利費率} & & \\ = & & 4.0799 \end{array}$$

〔立上り部〕

$$\begin{array}{ccccccc} & \text{※1} & & & \text{※2} & & \\ \text{平均労務費} & \times & \text{地域調整率} & \times & \text{法定福利費率(b')} & = & \text{㎡当りの法定福利費} \\ 2,142 & & 0.8567 & & 0.16118 & & 295.78 \end{array}$$

$$\begin{array}{ccc} & \text{※3} & \\ \text{㎡当りの法定福利費} & & \text{平均設計単価} \\ 295.78 & \div & 7,182 \times 100 \\ \text{法定福利費率} & & \\ = & & 4.1184 \end{array}$$

〔ポリマーセメント系防水工事における平面部と立上り部の施工面積比率〕※4

$$\begin{array}{l} \text{平面部} \quad \quad \quad 34.7\% \quad \times \quad 4.0799 = 0.0141573 \\ \text{立上り部} \quad \quad \quad 65.3\% \quad \times \quad 4.1184 = 0.0268932 \end{array}$$

〔ポリマーセメント系防水工事における法定福利費比率〕

$$0.014573 + 0.026893 = 0.04105$$

※1. メーカー各社の設計労務費の平均値を記載例として掲載（4頁）

※2. 2024年度の各保険の保険料率について（2頁）

※3. メーカー各社の設計価格の平均値を記載例として掲載（4頁）

※4. 防水工事現場における平面部と立上り部の施工面積比率について（4頁）

2. ケイ酸質系防水の法定福利費率の計算式

〔平面部・立上り部の区別なし〕

$$\begin{array}{ccccccc} & \text{※1} & & & \text{※2} & & \\ \text{平均労務費} & \times & \text{地域調整率} & \times & \text{法定福利費率(b)} & = & \text{㎡当りの法定福利費} \\ 1,204.7 & & 0.8567 & & 0.16118 & & 166.35 \end{array}$$

$$\begin{array}{ccc} & \text{※3} & \\ \text{㎡当りの法定福利費} & & \text{平均設計単価} \\ 166.35 & \div & 3,550 \times 100 \\ \text{法定福利費率} & & \\ = & & 4.686 \end{array}$$

〔ケイ酸質系防水工事における法定福利費比率〕

$$4.686$$

※1. メーカー各社の設計労務費の平均値を記載例として掲載（4頁）

※2. 2024年度の各保険の保険料率について（2頁）

※3. メーカー各社の設計価格の平均値を記載例として掲載（4頁）

3. セメント系防水の法定福利費率(矢野経済研究所 2011年版「防水材料市場白書」より)

	市場占有率		計算値		調整値
ポリマーセメント系防水	0.7551	×	0.04105	=	0.03100
ケイ酸質系防水	0.2449	×	0.04686	=	0.01148
合計					0.04248

[1成分形シーリング材]	※1 平均価格		※2 市場比率		修正価格
シリコーン	6660.0	×	0.4381	=	2917.7
変成シリコーン	7160.0	×	0.3614	=	2587.6
ポリウレタン系	5910.0	×	0.2005	=	1185.0
合計					6690.3

$$1\text{㊦当りの材料費} \quad 6690.3 \quad \times \quad \text{使用量} \quad 0.055 \quad = \quad \text{m当りの材料費} \quad 368.0$$

設計価格(一般業価格内訳より)

シーリング材					368.0
補足材	368.0 × 10%				= 36.8
防水工	※3 × 29,300	※4			= 791.1
その他	上記の13%				
合計	[368.0+36.8+791.1]	×	0.13	=	155.47
合計					1351.4

$$\begin{aligned} \text{m当りの法定福利費(j)} & 791.1 \times 0.16118 = 127.51 \quad \text{※5} \\ \text{法定福利費率(k)} & 127.51 \div 1351.4 \times 100 = 9.435 \end{aligned}$$

※1. 日本シーリング材工業会メーカー4社の平均値を記載例として掲載

※2. 日本シーリング材工業会の生産量より

※3. 「工事歩掛要覧」(令和5年度版)〔経済調査会刊〕を記載例として掲載

※4. 2024年度公共工事設計労務単価を記載例として掲載(5頁)

※5. 2024年度の各保険の保険料率について(2頁)

[2成分形シーリング材]	※1 平均価格		※2 市場比率		修正価格
シリコーン	7,466.7	×	0.0465	=	347.2
変成シリコーン	3,897.5	×	0.4454	=	1735.9
ポリサルファイド	3,697.5	×	0.0912	=	337.2
ポリウレタン系	2,355.0	×	0.4169	=	981.8
合計					3402.2

$$1\text{㊦当りの材料費} \quad 3402.2 \quad \times \quad \text{使用量} \quad 0.25 \quad = \quad \text{m当りの材料費} \quad 850.5$$

設計価格(一般業価格内訳より)

シーリング材					850.5
補足材	850.5 × 10%				= 85.1
防水工	※3 × 29,300	※4			= 1142.7
その他	上記の13%				
合計	[850.5+85.1+1142.7]	×	0.13	=	270.2
合計					2348.5

$$\begin{aligned} \text{m当りの法定福利費(j')} & 1142.7 \times 0.16118 = 184.2 \quad \text{※5} \\ \text{法定福利費率(k')} & 184.2 \div 2,348.5 \times 100 = 7.843 \end{aligned}$$

※1. 日本シーリング材工業会メーカー4社の平均値を記載例として掲載

※2. 日本シーリング材工業会の生産量より

※3. 「工事歩掛要覧」(令和5年度版)〔経済調査会刊〕を記載例として掲載

※4. 2024年度公共工事設計労務単価を記載例として掲載(5頁)

※5. 2024年度の各保険の保険料率について(2頁)

○シーリング防水の法定福利費率(日本シーリング材工業会の生産数量の統計より)

	市場占有率		計算値		合計値
1成分形シーリング材	0.552	×	9.435	=	5.2083
2成分形シーリング材	0.448	×	7.843	=	3.5137
合計					8.722

各防水工法における法定福利費率

防水種別 支部	メンブレン防水(資料1)			セメント系防水(資料2)			シーリング防水(資料3)		
	最低		最高	最低		最高	最低		最高
北海道		～	3.609%		～	4.404%		～	8.875%
東北	3.161%	～	3.656%	3.822%	～	4.455%	8.283%	～	8.849%
関東・甲信	3.413%	～	4.086%	4.115%	～	4.952%	8.538%	～	9.218%
中部	3.265%	～	3.572%	3.916%	～	4.298%	8.430%	～	8.732%
北陸	3.134%	～	3.408%	3.790%	～	4.093%	8.283%	～	8.584%
近畿	3.154%	～	3.269%	3.788%	～	3.939%	8.359%	～	8.517%
中国	2.932%	～	3.148%	3.555%	～	3.813%	8.102%	～	8.357%
四国	2.972%	～	3.072%	3.581%	～	3.674%	8.122%	～	8.276%
九州・沖縄	3.119%	～	4.076%	3.793%	～	4.996%	8.313%	～	9.160%

(注) 1. 各支部の法定福利費率は、一例として2024年度公共工事設計労務単価から算出したものであり、この数値の使用を義務付けるものではありません。

2. 各支部の法定福利費率は、参考資料として全防協で試算したものであり、建物の大小・難易度等を勘案して、各自算出したものを使用して下さい。

御見積書

年月日
号

見積番号 第

株式会社 国交建設 御中

防水工業株式会社

別紙内訳書の通り御見積り申し上げます

合計金額 ￥ 乙

工 事 名	工 事 場 所	施 工 期 間
全防ビル 精 算 条 件	東京都千代田区 御 支 払 条 件	見 積 有 効 期 限 ~
一式無増減、実 数、 実 測	なし	3ヶ月 特 記 事 項

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
防水工事						
屋根 断熱アスファルト保護防水	AI-2同等品 A種押出法ホリスチレンフォーム 保温板3種T60共	m ²	a	a'	a''	
屋上立上り アスファルト保護防水		m ²	b	b'	b''	
4F 屋根 加硫露出シート防水	t=1.2mm シルバ-仕上げ	m ²	c	c'	c''	
立上り 加硫露出シート防水	t=1.2mm シルバ-仕上げ H:550	m	d	d'	d''	
(小 計)				$A=a'+b'+c'+d''$		
1階縦横目地シーリング	15*10+ハック	m	e	e'	e''	
建具枠廻りシーリング	PS 15*10	m	f	f'	f''	
(小 計)					$B=e'+f''$	
EVピット 壁 ポリマーセメント系塗布防水		m ²	g	g'	g''	
防排水槽 床 ポリマーセメント系塗布防水		m ²	h	h'	h''	
(小 計)					$C=g''+h''$	
工事費 計					$V=A+B+C$	

